

議長（黒沢義久君） 次，5番益子慎哉君の発言を許します。

〔5番 益子慎哉君登壇〕

5番（益子慎哉君） 皆さん，こんにちは。5番益子慎哉でございます。議長にお許しをいただきましたので，通告に基づき一般質問させていただきます。

まず初めに，教育行政について，新教育長の基本方針についてお伺いします。

中原教育長が常陸太田市教育長に4月に就任されました。就任2カ月半で本市の教育の状況については，ある程度理解されたと思ひまして，新教育長就任に当たり基本方針をお伺いさせていただきます。新教育長は，県の教育委員会の次長まで歴任なされ，特に教育に関しては，素晴らしい見識と経験をお持ちだと思ひます。ぜひ，その経験を生かして本市の教育に邁進していただきたいと思ひます。

まず初めに，常陸太田市の教育の現状をどのように認識しておりますか，就任に当たりお伺いします。そして，本市の教育をどのように改革なされるのかお伺いしたいと思ひます。

次に，全国学力テストについてお伺いします。

昨日ときょう，同様の質問がありましたが，少し視点を変えて質問いたします。

小学校6年生と中学校3年生の全児童全生徒を対象に実施している文部科学省の全国学力・学習状況調査，全国学力テストについてお伺いします。全国学力テストの結果の公表については，保護者の67.3%が，学校選択の基本情報などの理由で公表すべきだという考えがあるようですが，全国の市区教育委員会の多くは，学校間の序列化や過度な競争につながる，公表しなくても指導方法の改善に役立てることができるとの理由で公表すべきでないという考えが多いようです。私としては，安易に公表して学校を序列化するのは反対であります。しかし，すべてを公表せずに秘密で進めていく調査というのにも問題があると思ひます。本市としては，どのようにお考えなのか，お伺いいたします。

本市の結果は，全国，茨城県と比べてどうであったかお伺いいたします。また，調査の結果，本市の子どもたちの学習における特徴などもありましたらお聞かせいただきたいと思ひます。

次に，この調査を各学校において分析されて，指導にどのように役立てていくのかお伺いいたします。

2番目であります。駅周辺整備事業についてお伺いします。

昨日も同様の質問がありましたが，視点を変えて質問したいと思ひます。

1番目の工事期間中の市民への配慮について。常陸太田周辺整備事業についてであります。工事により通行どめ，ロータリーが移転され大変狭くなり，出入り口も利用者が大変不便さを感じていると思ひます。同僚の議員からも早期の改善の要望が出ているようですが，今現在，改善されていません。あき地などが少ないために，駐車場の改善はなかなか難しいことではあります。工事の進行にあわせて細かい気配りをお願いしたいと思ひます。

また，出入り口の信号の早期の改善が，いつごろまでに行われるのかお伺いします。駐車場も多くの場所を確保して案内板を設けて利用しやすくしていただきたいと思ひます。できるだけ利用者に不便さを感じさせないような配慮が必要であると思ひますが，お考えをお伺いします。

次に、駅前周辺の商店街の活性化についてお伺いします。

これまで、駅周辺整備事業は先輩議員の質問が何度もありましたが、私は一市民として、そして子どもを送り迎える親として、子どもの送迎や周辺道路を利用する中で、今までロータリーの出入りが大変危険な駅だと感じておりました。

市から提案された計画は、おおむね理解し、賛成してきました。今後、駅周辺整備が整ったとき、多くの市を訪れるお客様方が利用される中、新しい駅舎を出たときに目の前に広がる商店街を見ると大きなギャップを感じる方が多くなると思います。当初の計画の100億円近い予算の中では、この区画の整備も考えていたようですが、いろいろな事情の中で計画が変更されました。しかし、駅をおりて目的地に向かう前に、ちょっとした買い物、食事をとりたいと思う利用者に、今の駅前の商店街ではお客様の要望に対応できないと思います。市としても、やる気のある店主と話し合い、国、県の助成を利用した商店街の活性化に取り組むべきだと思いますが、お考えをお伺いいたします。

公共的に官の施設が整いますが、民の施設の充実に努めるのも行政の仕事であると思います。いろいろな困難もあると思いますが、やる気のある方を中心に、駅前の商店街の活性化に早急に取り組むよう強く望みますが、お考えをお伺いします。

次に、発行された市民生活ガイドについてお伺いします。

このたび、市民サービスに欠かすことのできない行政案内である市民生活ガイドを、株式会社サイネックスと官民協働事業として発行しました。これまでの行政情報のほか、観光情報等の地域情報を盛り込み、大変親しみのある読みやすいガイドだと思います。掲載される情報は、市が提供し監修を行い、株式会社サイネックスが広告販売と編集、印刷を行い、市からの負担もなく、すべて広告収入で賄うもので、財政面から見てもすばらしい事業であると思います。

その中で、次の点について質問します。経費を広告料によって編集、印刷などすべてを賄ったようではありますが、実際どれぐらいの広告料を集めたのか、市として把握しているのかお伺いいたします。全国100自治体でもこの会社で発行されたそうで、編集費、印刷費、そして配布は各町会でなされたので、かなり経費は削減でき市内企業からの広告費も軽減できたと思いますが、市としてどのように考えているのかお伺いします。また、提案型の公募により入札が行われたようですが、1社のみで、公平さが保たれたのかお伺いいたします。また、主として市内の業者によって発行するようなことも考えられなかったのか、その点についてもお伺いします。

以上で、1問目の質問を終わりにします。よろしくお願ひします。

議長（黒沢義久君） 答弁を求めます。教育長。

〔教育長 中原一博君登壇〕

教育長（中原一博君） 新教育長の基本方針についてということでございますので、教育長に就任させていただいて2カ月たったの学校教育に関して、私の思いと教育をどのように進めていくかについて話をさせていただきます。

本市は自然環境にも恵まれ、史跡や文化遺産が豊かな町で、これまでも輝かしい人材をたくさん輩出しており、すばらしい町であります。市内の小中学校は、校長のリーダーシップのもと

教職員が前向きに頑張っており、児童生徒は落ちついた環境の中で学習や教育活動に取り組んでいるととらえております。

私は何よりも、学校教育の原点は目の前にいる児童生徒一人ひとりにあるということを基軸に、信頼される学校づくりを進め、一人ひとりの児童生徒の生きる力の育成を確かなものにしていくことが肝要であると考えております。市内の小中学校においては、信頼される学校づくりを進めるため、1つ目は児童生徒一人ひとりを大切にし、心に灯をともしせる教育の充実、すなわち児童生徒一人ひとりに目が配られ手が差し伸べられる教育活動でございます。

2つ目は、学校と保護者、地域が一体となって児童生徒の成長を願い、確かなものとする教育の充実、いわゆる学校が地域に根ざした学校づくりです。

3つ目は、何といたしましても教職員の力量の向上と、校長を中心とした組織力の発揮、具体的には、教職員の自主研修や学び合いの場を通して、児童生徒、保護者からの信頼を得るために資質の向上を図ることです。

この3点につきましては、本市ではこれまでも取り組んでまいりました。各学校が共通に取り組んでほしいこととして、これからも強調してまいりたいと思います。

加えて、私はこれからの協働のまちづくりを進める常陸太田市を担う児童生徒を育成するために、学校教育では次の3つに力を入れていきたいと考えております。

1点目ですが、このすばらしい郷土、常陸太田市に誇りを持ち、愛着を深め、将来この郷土の発展に尽くせる児童生徒を育成するため、郷土学習やエコミュージアム活動等の充実を図っていききたいと思います。

2点目ですが、言葉の乱れや国語力の欠如などが指摘されておりますが、国語力はすべての教科の基礎、人と人をつなぐ大切な媒体でもありますので、読書活動や表現力を高める活動を大切にしていきたいと思います。

3点目ですが、行き先が見えない社会の中で、児童生徒にとっては将来の夢が持てないと言われております。それぞれのよさを見出し、将来の夢をはぐくんでいけるようキャリア教育の充実を図ってまいりたいと考えております。特に、このような教育の充実を図り、市内の児童生徒一人ひとりが将来の夢や希望を持って、困難にも立ち向かいながら努力して、すばらしいふるさと常陸太田市に貢献できる子どもたちをはぐくんでいけるよう、市教育委員会といたしましても各学校を支援し、市民の皆さんの信頼と期待に答えられるよう精神誠意努力してまいります。

次に、全国学力・学習状況調査についての質問にお答えいたします。

この調査の本市の結果につきましては、調査が各学校ごとの点数の公表をしないことを前提として実施していること、さらに対象とする学年や実施教科が限定されていること、学力として的一部分であること、学校間の序列化や過度な競争につながるなどから各学校の数値の公表はいたしません。ただ、この結果を最大限に生かしていくため、本市の児童生徒の学力や基本的な生活習慣の結果から傾向や課題について各学校に示しております。各学校においては、保護者に対して学校の傾向としてよかったところや、改善したいところ、今後の取り組みの重点等について、学校便りや学年便り、あるいは保護者懇談会等で知らせるとともに、各個人のデータも示し

て、家庭学習の習慣化や規則正しい生活習慣の定着など、家庭での教育に役立てるようにしております。

また、市民の皆さんにも、本市は各学校に積極的に支援をいただいております観点から、単なる数字の比較でなく、本市の児童生徒の頑張りやこれから力を入れていかなければならないことなどについて、何らかの形でお示ししていくことが必要かと考えております。

続いて、平成20年度本市と全国、県との学力調査の比較についてですが、この学力調査は小学校6年生と中学校3年生の国語と算数、数学の知識と活用力、さらに学校や家庭での学習や生活の様子について把握することとしております。本市の児童生徒の学力面では、国や県と比べて、全体として好ましい状況にあります。しかしながら、小学校6年生の国語における読むことの領域については課題がありますので、重点的に取り組んでまいりたいと考えております。

また、学習への取り組みの特徴でございますが、調査では家庭で計画を立てて勉強をしているとか、自分の考えを発表できる機会があると回答している児童生徒の割合が、全国に比べて高い状況でございます。実際の授業を見ても、落ちついた雰囲気の中で学習しており、グループでの話し合い活動や調べ活動等にも意欲を持って臨んでいる姿が見られます。

市教育委員会の今後の施策、取り組みにつきましては、本市の学力、学習状況の結果をさらに分析し、各学校においては、この結果を十分に活用して学習指導方法の改善に役立てるとともに、本市の課題となっている点につきましては、課題解決のための取り組みを明確にして、児童生徒一人ひとりが一層確かな学力を定着できるよう努めてまいります。

議長（黒沢義久君） 建設部長。

〔建設部長 富田広美君登壇〕

建設部長（富田広美君） 常陸太田駅周辺整備事業についての中で、建設部関係のご質問にお答えいたします。

工事期間中の市民への配慮についてでございます。

議員ご指摘のように、駅周辺整備事業によりまして、駅ご利用の方にはご不便をおかけしているところでございます。工事期間中の駅ご利用者の方の誘導、特に暫定駅前広場のご利用の方の誘導につきましては、市報「お知らせ版」により周知させていただいたところではございますが、旧ロータリーからの切りかえ時に混乱が生じたことから、これまでに路面表示、案内標識、ベンチの設置など利用しやすいように改善を図ってきたところでございます。暫定駅前広場出入口口信号機につきましては、県によりまして信号機の表示サイクル時間の調整などを行っていただき、混雑の解消を図ってきたところでございますが、混雑がまだ解消していないことから、市といたしましては、現在、車両感应式とすることについて検討、協議をしているところでございます。早期に設置できますよう協議を進めてまいります。

また、駐車場につきましては、駅に隣接した市営駅北駐車場の利用ができなくなったことから、これまで駐車場をご利用していただいた方には事前に説明を行いまして、旧常北太田駅付近に月極の仮設駐車場を整備し、希望者にご利用いただいているところでございます。

長期間にわたる工事でございますので、今後とも工事期間中の安全管理に十分留意するとともに

に、駅ご利用の方にもわかりやすく安全に利用していただけるよう努めてまいります。また、苦情、要望等がありました際には速やかに対処させていただきますので、ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

議長（黒沢義久君） 産業部長。

〔産業部長 赤須一夫君登壇〕

産業部長（赤須一夫君） 常陸太田駅周辺整備事業についてのご質問のうち、駅前周辺の商店街の活性化についてお答えいたします。

駅周辺は、常陸太田市の玄関口として訪れる人々の利便性向上のために民間活力を誘導するなど、駅前としての環境づくりを進めてまいりたいと考えております。そのため、庁内に中心市街地活性化のためのプロジェクトを組織し、研究、検討を進めておりますとともに、国、県の補助、助成事業等を取り上げながら、民間活力が導入しやすい環境づくりを進めてまいりたいと考えております。

以上でございます。

議長（黒沢義久君） 政策企画部長。

〔政策企画部長 江幡治君登壇〕

政策企画部長（江幡治君） 市民生活ガイドについてのご質問にお答えをいたします。

市民生活ガイドにつきましては、これまで3年に一度の割合で発行してまいりました。今回初めて、官民協働による取り組みを行いまして発刊したものでございます。広告料につきましては、市民生活ガイドの発行費用を協働事業者が負担することとしておりました。協働事業者であるサイネックスが、市の広報掲載取扱要綱を守りまして、広告掲載協力事業者を募る中で独自に設定をしたものでございます。このため、広告料の総額並びに経費を承知しておりませんことから、採算につきましても承知をしていない状況でございます。

次に、公平性の確保と市内事業者による発行についてでございますが、今回、市民生活ガイドの発行に当たりましては、公平性を確保するため、発行部数、ページ数、印刷内容等の発行用件を定めるとともに、発行費用を事業者が負担するという内容で、市内外を問わず、お知らせ版等、市ホームページにより昨年10月10日から1カ月間、協働事業者の公募を行ってきたところでございます。この公募に対しまして企画提案がありましたのが、水戸市に支社を置きます株式会社サイネックス1社でございました。このため、サイネックスの企画提案のあった内容につきまして審査をし、官民協働事業者として選定をしてきたところでございます。

議長（黒沢義久君） 5番益子慎哉君。

〔5番 益子慎哉君登壇〕

5番（益子慎哉君） 2回目の質問をさせていただきます。

教育行政は、新教育長の熱い思いというか、いろいろな方針について伺うことができました。また、学力テストについても大方、私の質問に対して丁寧に答えていただきましたので結構でございます。

2番目、常陸太田駅周辺構想についての工事期間中の市民への配慮についてであります。

だいま答弁いただいたんですけども、この件、5月ごろから同僚の議員さんあたりが結構、今の信号では3台くらいしか出られないからどうかしてくれとか、そういう要望があって、5月、6月、もう1カ月半以上、もっと先から、いろいろ市民の方から苦情があったと思うんですけども、私はそれよりも、信号ができた時点で、例えば市の担当職員の方がやってきてロータリーから出るのに、ちょっとここ問題があるんじゃないかなと。できる前までは難しいかもしれない。できた時点で、これは皆さんに迷惑をかけるんじゃないかなと感じないのか。その辺の状況確認した上で対策が練られないのかなと思ってます。

もう1つは、やっぱりあんな状況でここまで過ごしてきて、今でも県と協議中だという対応というのは甚だおかしいんじゃないかと。それで、感應式の信号にかえるという答えをいただきましたけれども、多少の不満は仕方ないですが、感應式でちょこっとの間でまた出るような状態になるのかとか、その辺の時間とかを精査してやってる計画なのか。感應式の信号にかえても、まだ不便さが出るなど考えられるのですが、その辺は市としてどのようにお考えなのかご質問いたします。

次に、駅前周辺の商店街の活性化についてなんですけども、新しい駅ができて、玄関の地というのに、これから考えていくとかそんなの行政で全然遅いと思うんです。もう駅舎ができて、駅舎の整備と同時進行で、今までいろいろな問題もあったんでしょうけれども、その辺は観光担当の産業部では、商店街、例えば2、3人の方でもやる気がある方とか、まず最初に、南口商店街の人に対して、このような形で市としても駅前の商店街をもう少し活性化させたいという話を出していかないと、今、例えば私なんか質問して、今から補助金とかを考えていくという対応というのは、何か遅すぎる。その辺についてどのようにお考えなのかご質問いたします。

3番目、市民生活ガイドについてご質問します。

説明は大体理解したんですけども、要するに、総事業費というか、その企画の全部にかかる費用というのは、市として大体これぐらいかかるのかと理解しないで発注するというか、事業を始めるというのは、私は問題なんじゃないかなと思います。ほかの事例もいろいろありますが、大体広告料がこれぐらい集まるとか、今、社会的に経済的に大変だから難しい面もありますけれども、広告料がどれぐらい。そして、市民というのは、私も広告参加したんですけども、官民協働事業、市役所の事業だから私はそんなに関係ないかなと思って参加して下さった人というのはたくさんいると思うんです。そういうので、事業費とかを精査してやっていくべきだと思うんですけども、それは、広告を集めるサイネックスさんをお願いをして、私らはやってきたというはずなんですけども。やはり、その辺をどうとらえているのかというのを伺います。

そして、要望ですけど、次回あたりは、企画は市でやっていただいて、構成とか印刷というのを、もうちょっと市内の印刷業者さんとか事業者さんに働きかけるようなことは考えられないのかと要望いたしまして、2回目の質問を終わりたいと思います。よろしく申し上げます。

議長（黒沢義久君） 答弁を求めます。建設部長。

〔建設部長 富田広美君登壇〕

建設部長（富田広美君） 常陸太田駅周辺整備事業の工事期間中の配慮ということにつきまし

での2回目のご質問にお答えいたします。

暫定駅前広場出入り口の信号機の件でございますが、設置したときにわかったのではないかと
いうようなことではございますが、切りかえ時の信号の運用につきましては、その都度、状況を見
まして、県によりまして、先ほど申し上げましたように、表示サイクルを調整いたしまして一番
適正な時間ということで設定を図ってきたところではございますが、なかなか混雑が解消できな
い。といいますのは、ご存じのように複雑な交差点になってございまして、制御の方法がかなり
制約があるという中で、最適な方法ということで今まで運用をしているということではござい
ます。

その中で市といたしましては、何か抜本的な改善策ということで考えてきたところでござい
まして、その中で車両感応式という信号の制御方法をお願いしてきたところでござい
ます。この車両感応式の信号でございますが、今までの複雑な信号機の中に、感応式の制御を、出入り口の信号
機に組み込むということになります。これによる効果でございますが、どのようなことで、結果
はどのようなかということでございますが、警察と協議している中では、時間の設定等いろいろ問
題があるんですけれども、朝夕のピーク時につきましては若干の効果はありますが、それほど効
果はないかもしれないということでございます。ただし、日中の時間帯につきましては、通常の
運用でございますと車両がないときにも信号が切りかわるというような運用になってはござ
いまして、感応式になりますと駅に出入りする車両がなければ、通常の国道349号と293号を主体と
する運用になりますので、こちらの交通混雑は解消が見込まれます。

時間がかかっているというご指摘もございまして、これにつきましては、やはり当初の整備に
あたりましては信号の設置につきましては、県と協議しまして設置費用等の問題につきま
していろいろ調整しながら設置してまいりました。今回の感応式につきましても、信号機という
ものが原則県が整備することになっておりますので、ここに市が申し入れをいたしまして、
今回お願いしているという状況がございまして、設置費用の問題等のこともござい
ますので、もう少し時間をいただきたいと存じます。

議長（黒沢義久君） 産業部長。

〔産業部長 赤須一夫君登壇〕

産業部長（赤須一夫君） 駅前周辺の商店街の活性化についての2回目のご質問にお答え
いたします。

当市としましては、中心市街地を南口商店街、鯨ヶ丘等を含めた地域としまして、活性化を
図っているところでございます。具体的な事業の導入につきましては、これらも鋭意検討を
いたしまして進めてまいりたいと考えております。さらには、事業を導入するに当たっては、
まちづくり事業推進等を進めているところでありますけれども、商店街の経営者の方
々を主体とした方々と協議を検討しまして、早急に対処してまいりたいと考えて
おります。

以上でございます。

議長（黒沢義久君） 政策企画部長。

〔政策企画部長 江幡治君登壇〕

政策企画部長（江幡治君） 市民生活ガイドについての2回目のご質問にお答えを
いたします。

協働事業者でありますサイネックスの人件費等、会社の実情がわかりませんことから、総事業費がどれくらいかということ想定していなかったのも事実でございます。今回、初めてこのような取り組みを行ったわけですが、広告がどれくらい集まるかということも、この経済状況の中で見込めませんでした。次回、このような取り組みをしますときに、こうしたことを検証しますとともに、総事業費等について勘案をしながら進めていきたいと考えております。

議長（黒沢義久君） 5番益子慎哉君。

〔5番 益子慎哉君登壇〕

5番(益子慎哉君) 3度目の質問になりますが、要望ということでかえさせていただきます。

まず最初に、工事期間中の市民の配慮の中で、信号の問題で感應式の信号になっている。随分県との関係で後れるということかもしれませんけれども、予算面でもなかなかつかないことではありますけれども、早急に予算をつけていただいて、それで、感應式にかえたから全然改善がなかったということがくれぐれもないように。前を通りますと、答弁では前と変わらないかもしれないなんていう答弁もありましたけれども、それをよく精査して、市民に感應式にかわって随分利用しやすくなったとわかるようなことで考えていただきます。

次に、駅前周辺の商店街の活性化についてなんですけれども、私は、今からどうのこうのというよりも、もう少し前にさかのぼって、やっぱり産業部あたりで考えられなかったのかという答弁を期待してたんですけれども。そういうふうな政策とか、駅前なんて中心的な事業の中で進めた中でいろんな各部あると思うんですけれども、やっぱり産業部あたりは、きのうも質問がありましたように観光のこととか、利用するお客様の利便性のことなんかを考えると、もう少し先に先にやっていく手があるんじゃないかと。それに対して、先々いろんな予算とか、補助なんかの申請もあるし、そんな情報をきちっと早く取ってやってもらいたいというのを望みます。

最後に、市民生活ガイドなんですけれども、総予算大体どれくらいになるかという前に、例えば、今まで予算というので計上していたわけなんです。その計上で使われなかったというのはいいことだったんですけれども、その辺を予算までつけてやるような事業なんだから、どれくらいの予算というのはきちんと踏まえてやって、これからは執行していただきたいと思います。

以上で終わりにします。